

古文ドリル：「ばや」「なむ」「がな」など願望表現 100問

対象：高校生・大学受験生 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：願望表現の整理

古文の願望（～したい／～してほしい）を表す終助詞・連語：

形	接続	訳	主体
ばや	未然形	～したい	自分（1人称）
なむ（他者願望）	未然形	～してほしい	他人（2/3人称）
てしがな／にしがな	連用形	～したい	自分（強い願望）
もがな／がな	体言・形容詞などの連用形・助詞（に・を など）	～があればなあ／～であればなあ	願望（存在）

識別の鉄則

- 未然形＋「ばや」で文が終わる（「～ばやと思ふ」も同じ）→ 自分の願望「～したい」
- 未然形＋「なむ」→ 他者への願望「～してほしい」
- 連用形＋「てしがな／にしがな」→ 自分の強い願望
- 体言＋「もがな／がな」→ 物事の存在を願う

注意：「なむ」の混同

「なむ」には複数の用法あり：

用法	接続
願望（他者）「なむ」	未然形
完了「ぬ」未然+推量「む」	連用形
係助詞「なむ」（強調）	体言・連体形・助詞など（文中）
ナ変動詞の未然形の語尾「な」+推量「む」（死なむ・往なむ）	ナ変動詞「死ぬ」「往（い）ぬ」の一部

→ 直前の活用形で識別。ただし、上一段・上二段・下二段の動詞（見・過ぎ・明け など）は未然形と連用形が同じ形、カ変「来」は漢字では同じ字（未然形「こ」・連用形「き」）なので、形だけでは決まらない。主語（自分のことなら他者への願望ではない）・文脈・ふりがな・前後の語（下に体言・「を」・「とす」が続く、上に係助詞「ぞ・や・か」がある → 完了+推量）で決める。

🎯 解き方のコツ（時短テクニック）

上の「識別の鉄則」は、文法の理屈にそった見分け方。

こちらは **試験本番ですばやく答えを出す** ための実戦テクニックです。

コツ① 文末の「ばや」を見つけたら未然形チェックだけでOK

文末（「～ばやと思ふ」の「と」の前も含む）の「未然形+ばや」は、**自分の願望**「～したい」。
例：「行かばや」→ 即「行きたい」と訳す。ただし、文の途中で下に続く「ばや」は、接続助詞「ば」+係助詞「や」（～ならば…か）のこともある。例：「折らばや折らむ」=折るならば折ろうか。

コツ② 「なむ」は直前の音で即判断

- ・ 直前が **アの音（四段・ラ変などの未然形）** → 「～してほしい」（他者願望）
- ・ 直前が **イの音（四段・ラ変などの連用形）** → 「～してしまうだろう」（完了+推量）
- ・ 上一段・上二段・下二段（見・過ぎ・明け など）は未然形と連用形が同じ音、カ変「来」は漢字だと同じ字（こ／き）なので、**音では決まらない**。主語・文脈・ふりがな・前後の語で決める（サ変は「せなむ」が他者願望、「しなむ」が完了+推量）
- ・ 「死なむ」「往（い）なむ」は、ナ変動詞の未然形の語尾「な」+推量「む」
- ・ それ以外（体言・連体形・助詞の後）→ 係助詞（強調・訳さない）

例：「咲かなむ」→ ア音 → 「咲いてほしい」／「咲きなむ」→ イ音 → 「きっと咲くだろう」

コツ③ 「がな」「もがな」は前を見るだけ

- ・ 前が **体言（名詞）** → 「～があればなあ」
- ・ 前が **形容詞などの連用形**（長く など）→ 「～であればなあ」（長くもがな=長くあってほしい）

- ・「てし」「にし」に付く「がな」→連用形+「てしがな」「にしがな」で「～したいなあ」
「てしがな」「にしがな」は丸ごと1セットで「～したい」と覚える。分解しない。

コツ④ 文末の「ばや」「がな」は願望／文中で、下が連体形で結ばれる「なむ」は係助詞

願望の終助詞は **文末**（または「と思ふ」などの「と」の前）に来る。文中にあって、下の語が連体形で結ばれる「なむ」は係助詞。文末の「なむ」は、直前が未然形なら他者願望、連用形なら完了+推量（コツ②）。文中でも、動詞に付いて下に「とす」「を」や体言が続く「なむ」（隠れなむとす・出でなむを待つ・散りなむ後）は完了+推量（「死なむ」などのナ変は、語尾「な」+推量「む」）。「～なむと思ふ」「～なむと祈る」のように「と」の前にある「なむ」は、文末と同じに見る。例：「世にあらなむ」（文末・未然形）→願望／「春なむ来たる」（文中）→係助詞。

試験本番でのチェック順序

1. 「ばや／なむ／がな／もがな／てしがな／にしがな」のどれかを特定
2. **直前の語**の活用形（未然か連用か体言か）を見る（未然形と連用形が同じ形の語は、主語・文脈・ふりがな・前後の語で決める）
3. 表に当てはめて訳を決定
4. 文末か文中かで係助詞「なむ」を除外

→ この順番で見れば、すばやく答えが出ます。

よくある引っかけ

- ・「なむ」を見ると全部「～してほしい」と訳す → 連用形接続は完了+推量「きっと～だろう」
- ・「来なむ」「明けなむ」を形だけで決める → 未然形と連用形が同じ形（字）の語は、主語・文脈・ふりがな・前後の語で決める（「来（こ）なむ」＝来てほしい／「来（き）なむ」＝きっと来るだろう）
- ・「がな」を疑問「～かな」と訳す → 古文の「がな」は、ほとんどが願望「～があればなあ」
- ・「ばや」を仮定「～ならば」と混同 → 文末の「未然形+ばや」は終助詞で「～したい」。ただし文の途中で下に続く「ばや」は、接続助詞「ば」+係助詞「や」（折らばや折らむ＝折るならば折ろうか）のこともある

採点表

- ・基礎（Q1～Q20）： /20
- ・標準（Q21～Q50）： /30
- ・応用（Q51～Q80）： /30
- ・入試レベル（Q81～Q100）： /20
- ・合計： /100

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

Q1. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

琴を習は**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 解説：「習は」（四段「習ふ」未然形）＋「ばや」。「琴を習いたい」。

Q2. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

春の野の花、とく咲か**なむ**。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「咲か」（四段「咲く」未然形）＋「なむ」。未然形＋「なむ」＝他者願望。「春の野の花が早く咲いてほしい」。

Q3. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

命の長き世**もがな**。

答え：願望「もがな」 解説：体言「世」＋「もがな」。「命の長い世があればなあ」。

Q4. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

われも歌の道を究め**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 解説：「究め」（下二段「究む」連用形）＋「てしがな」。「私も和歌の道を究めたいなあ」。

Q5. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

われ、かの山に登ら**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 解説：「登ら」（四段「登る」未然形）＋「ばや」。「私はあの山に登りたい」。自己の動作に対する願望。

Q6. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

君も来（こ）**なむ**。

答え：願望（他者）「なむ」 **解説：**「来（こ）」（カ変「来」未然形）＋「なむ」。未然形＋「なむ」＝他者願望。「あなたも来てほしい」。「来（き）なむ」と読めば、連用形＋完了「ぬ」未然形「な」＋推量「む」で「きっと来るだろう」になる。漢字の「来」は読みで決まる。

Q7. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

君が代千代**もがな**。

答え：願望「もがな」 **解説：**体言「千代」＋「もがな」。「あなたの御代が千年もあればなあ（千年も続いてほしい）」。

Q8. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

仏に祈ら**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説：**「祈ら」未然＋「ばや」。「仏に祈りたい」。

Q9. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

心安く生き**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説：**「生き」連用＋「てしがな」。「心安く生きたいなあ」。

Q10. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

月見**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説：**「見」未然＋「ばや」。「月を見たい」。

Q11. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

月、山の端近くなりて、隠れ**なむ**とす。

答え：（識別注意）完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説：**下二段「隠る」は未然形も連用形も「隠れ」で同じ形なので、形だけでは決まらない。下に「とす」が続く「～なむとす」は「今にも～してしま

いそうだ」の言い方で、連用形「隠れ」＋完了「ぬ」未然形「な」＋推量「む」。願望の終助詞「なむ」に「とす」は付かない。「月が山の端に近くなって、今にも隠れてしまいそうだ」。

Q12. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

心ある友**もがな**。

答え：願望「もがな」（存在願望） **解説：**体言「友」＋「もがな」。「心ある友があればなあ」。体言＋もがなの典型。

Q13. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

古き友、見**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説：**「見」（上一段「見る」未然形）＋「ばや」。「昔なじみの友に会いたい」（「見る」はここでは「会う」）。

Q14. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

この笛を吹き**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説：**「吹き」（四段「吹く」連用形）＋「てしがな」。「この笛を吹きたいなあ」。

Q15. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

我れ静かに眠ら**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説：**「眠ら」（四段「眠る」未然形）＋「ばや」。「私は静かに眠りたい」。自己の動作に対する願望。

Q16. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

春雨降ら**なむ**。

答え：願望（他者）「なむ」 **解説：**「降ら」未然＋「なむ」。「春雨が降ってほしい」。

Q17. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

わが庵を訪ふ人**もがな**。

答え：願望「もがな」 **解説：**体言「人」＋「もがな」。「私の庵を訪ねてくる人がいればなあ」。

Q18. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

君と心を通はさ**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説：**「通はさ」（四段「通はす」未然形）＋「ばや」。「あなたと心を通わせたい」。

Q19. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

世を捨てて、山に籠もり**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説：**「籠もり」（四段「籠もる」連用形）＋「てしがな」。「世を捨てて（出家して）、山にこもりたいなあ」。

Q20. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

都へ文やるたより**もがな**。

答え：願望「もがな」 **解説：**体言「たより」＋「もがな」。「たより」は「つて・よい機会」。「都へ手紙を送るつてがあればなあ」。

基礎編 / 20

【第2部】標準編（Q21～Q50）

Q21. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

都を見**ばや**と思ふ。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説：**「見」未然＋「ばや」。「都を見たいと思う」。

Q22. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

雨止まなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「止ま」未然＋「なむ」。「雨が止んでほしい」。

Q23. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

花散りなむ。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「散り」連用＋「なむ」。連用接続なので完了「ぬ」未然「な」＋推量「む」。「花が散ってしまうだろう」。

Q24. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

老いせぬ世もがな。

答え：願望「もがな」 解説：体言「世」＋「もがな」。「老いない世があればなあ」。物事存在を願う。

Q25. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

帝に仕へてしがな。

答え：自己強願望「てしがな」 解説：「仕へ」連用＋「てしがな」。「帝にお仕えしたいなあ」。

Q26. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

経を読まばやと思ひて。

答え：願望（自己）「ばや」 解説：「読ま」未然＋「ばや」。「お経を読みたい」。

Q27. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

鳥啼かなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「啼か」未然＋「なむ」。「鳥が鳴いてほしい」。

Q28. 次の傍線部「がな」を識別せよ。

古き友がな。

答え：願望「がな」 解説：体言「友」＋「がな」（もがなの「も」省略形）。「古い友があればなあ」。

Q29. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

旅に出でばや。

答え：願望（自己）「ばや」 解説：「出で」（下二段「出づ」未然）＋「ばや」。「旅に出たい」。

Q30. 次の傍線部「にしがな」を識別せよ。

古き世を見にしがな。

答え：自己強願望「にしがな」 解説：「見」連用＋「にしがな」。「てしがな」とほぼ同義。「古き世を見たいなあ」。

Q31. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

風和らがなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「和らが」（四段「和らぐ」未然形）＋「なむ」。未然形＋なむ＝他者願望。「風が和らいでほしい」。

Q32. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

心を尽くさばや。

答え：願望（自己）「ばや」 解説：「尽くさ」未然＋「ばや」。「心を尽くしたい」。

Q33. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

いつしか春もがな。

答え：願望「もがな」 解説：体言「春」＋「もがな」。「早く春があればなあ」。

Q34. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

都に住みて**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 解説：「住み」連用＋「てしがな」。「都に住みたいなあ」。

Q35. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

雨降り**なむ**。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「降り」連用＋「なむ」。連用接続なので完了＋推量。「雨が降ってしまうだろう」。

Q36. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

人にも告げ**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 解説：「告げ」（下二段未然）＋「ばや」。「人にも告げたい」。

Q37. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

心を慰むるもの**もがな**。

答え：願望「もがな」 解説：体言「もの」＋「もがな」。「心を慰めるものがあればなあ」。

Q38. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

月さやかに照ら**なむ**。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「照ら」未然＋「なむ」。「月が明るく照ってほしい」。

Q39. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

一目見**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 解説：「見」未然＋「ばや」。「ひと目見たい」。

Q40. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

心ゆくまで遊び**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説：**「遊び」連用＋「てしがな」。「心ゆくまで遊びたいなあ」。

Q41. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

波静まら**なむ**。

答え：願望（他者）「なむ」 **解説：**「静まら」（四段「静まる」未然形）＋「なむ」。未然形＋なむ＝他者願望。「波が静まってほしい」。

Q42. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

いま一度逢は**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説：**「逢は」（四段「逢ふ」未然形）＋「ばや」。「もう一度会いたい」。

Q43. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

君に逢ふよし**もがな**。

答え：願望「もがな」 **解説：**体言「よし」＋「もがな」。「よし」は「手だて・方法」。「あなたに会う手だてがあればなあ」。

Q44. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

雪降り**なむ**。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説：**「降り」連用＋「なむ」。「雪が降ってしまうだろう」。

Q45. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

春の野に出で**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説：**「出で」（下二段未然）＋「ばや」。「春の野に出たい」。

Q46. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

文を書きて**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説：**「書き」連用＋「てしがな」。「手紙を書きたいなあ」。

Q47. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

君、とく帰ら**なむ**。

答え：願望（他者）「なむ」 **解説：**「帰ら」（四段「帰る」未然形）＋「なむ」。未然形＋「なむ」＝他者願望。「あなたに早く帰ってきてほしい」。

Q48. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

心安き世**もがな**。

答え：願望「もがな」 **解説：**体言「世」＋「もがな」。「心安らかな世があればなあ」。

Q49. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

しばし眠ら**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説：**「眠ら」未然＋「ばや」。「しばらく眠りたい」。

Q50. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

風吹き**なむ**。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説：**「吹き」連用＋「なむ」。「風が吹いてしまうだろう」。連用接続→完了＋推量。

標準編 / 30

【第3部】応用編（Q51～Q80）

係り結び・敬語・複雑な文構造を伴う問題。

Q51. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

何事も忘れ**ばや**と思ふ。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説：**「忘れ」（下二段未然）＋「ばや」。「何事も忘れたいと思う」。

Q52. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

散らば惜しからむ。桜、散らざら**なむ**。

答え：願望（他者）「なむ」 **解説：**「散らざら」は「散ら」（四段「散る」未然形）＋打消「ず」未然形「ざら」。未然形＋「なむ」＝他者願望なので、「散らざらなむ」は「散らないでほしい」。「散ったら惜しいだろう。桜よ、散らないでほしい」。

Q53. 次の傍線部「もぞ」を識別せよ（「もがな」と見比べよう）。

玉の緒よ絶えなば絶えね、ながらへば忍ぶことの弱り**もぞ**する。

答え：係助詞「も」＋係助詞「ぞ」（危惧「～すると困る」）。「もがな」ではない **解説：**「もぞ」は係助詞「も」＋「ぞ」で危惧の意。「もがな」ではない。識別の引っかけ。「絶えね」の「ね」は完了「ぬ」命令形（絶えてしまうなら絶えてしまえ）。

Q54. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

春を待た**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説：**「待た」未然＋「ばや」。「春を待ちたい」。

Q55. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

千年も生きて**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説：**「生き」連用＋「てしがな」。「千年も生きたいなあ」。

Q56. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

雪も消えぬ。今は春も来（き）**なむ**。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説：**「来（き）」（カ変「来」連用形）＋完了「ぬ」未然形「な」＋推量「む」。「雪も消えた。今はもう春もきつと来るだろう」。「来（こ）なむ」と読めば、未然形＋他者願望の「なむ」で「来てほしい」になる。

Q57. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

君と同じ志**もがな**。

答え：願望「もがな」 **解説：**体言「志」＋「もがな」。「君と同じ志があればなあ」。

Q58. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

かの人に伝へ**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説：**「伝へ」（下二段未然）＋「ばや」。「あの人に伝えたい」。

Q59. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

風吹か**なむ**。

答え：願望（他者）「なむ」 **解説：**「吹か」未然＋「なむ」。「風が吹いてほしい」。

Q60. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

御目にかかり**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説：**「かかり」連用＋「てしがな」。「お目にかかりたいなあ」。

Q61. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

京に帰ら**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説：**「帰ら」未然＋「ばや」。「京に帰りたい」。

Q62. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

あはれなる人**もがな**。

答え：願望「もがな」 **解説：**体言「人」＋「もがな」。「心動かす人があればなあ」。

Q63. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

御身安らかになりたまはなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「たまは」（四段尊敬「給ふ」未然）＋「なむ」。敬語連動の他者願望。「お身体安らかでいらっしやってほしい」。

Q64. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

一人にて居らばや。

答え：願望（自己）「ばや」 解説：「居ら」（ラ変「居り」未然）＋「ばや」。「ひとりでいたい」。

Q65. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

都の様を見てしがな。

答え：自己強願望「てしがな」 解説：「見」連用＋「てしがな」。「都の様子を見たいなあ」。

Q66. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

御文届かなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「届か」未然＋「なむ」。「お手紙が届いてほしい」。

Q67. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

風静かなる夜もがな。

答え：願望「もがな」 解説：体言「夜」＋「もがな」。「風静かな夜があればなあ」。

Q68. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

この絵を、宮に御覧ぜさせばや。

答え：願望（自己）「ばや」（敬語連動） 解説：「御覧ぜ」（サ変「御覧ず」未然形）＋使役「さす」未然形「させ」＋「ばや」。「御覧ぜさす」は「（貴人に）ご覧に入れる」。「この絵を、宮様にご覧に入りたい」と、敬語を交えた自己願望。

Q69. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

月を見むとて、雲晴れ**なむ**と祈る。

答え：(識別注意) 願望 (他者) 「なむ」 **解説：**「晴れ」は下二段「晴る」の未然・連用同形なので、形だけでは決まらない。月を見ようとして、雲が晴れることを「祈る」場面なので、未然形「晴れ」＋他者願望の終助詞「なむ」。「月を見ようと思って、雲が晴れてほしいと祈る」。

Q70. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

此の人と語らひ**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説：**「語らひ」連用＋「てしがな」。「この人と語り合いたいなあ」。

Q71. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

文を書か**ばや**と思へど、暇なし。

答え：願望 (自己) 「ばや」 **解説：**「書か」未然＋「ばや」。「手紙を書きたいと思うけれど、暇がない」。

Q72. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

御代長く続か**なむ**。

答え：願望 (他者) 「なむ」 **解説：**「続か」未然＋「なむ」。「御代が長く続いてほしい」。

Q73. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

春ごとの花**もがな**。

答え：願望「もがな」 **解説：**体言「花」＋「もがな」。「春ごとの花があればなあ」。

Q74. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

御供に侍ら**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」（謙譲連動） **解説：**「侍ら」（う変「侍り」未然、謙譲）＋「ばや」。「お供に控えたい」と謙譲を交えた自己願望。

Q75. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

御簾の中に入り**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説：**「入り」連用＋「てしがな」。「御簾の中に入りたいなあ」。

Q76. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

風止み**なむ**。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説：**「止み」連用＋「なむ」。「風が止んでしまうだろう」。連用接続→完了＋推量。

Q77. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

御文奉ら**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」（謙譲連動） **解説：**「奉ら」（四段「奉る」未然、謙譲）＋「ばや」。「お手紙を差し上げたい」。

Q78. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

いつまでも変はらぬ友**もがな**。

答え：願望「もがな」 **解説：**体言「友」＋「もがな」。「いつまでも変わらない友があればなあ」。

Q79. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

この雨に、桜の盛りも過ぎ**なむ**。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説：**「過ぎ」は上二段「過ぐ」の未然形・連用形（同じ形）なので、形だけでは決まらない。「この雨で」とこれから起こることを推し量っていて、盛りが過ぎるのを願う場面ではないので、連用形「過ぎ」＋完了「ぬ」未然形「な」＋推量「む」。「この雨で、桜の盛りもきっと過ぎてしまうだろう」。

Q80. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

古今の歌を学ば**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説：**「学ば」未然＋「ばや」。「古今の和歌を学びたい」。

応用編 / 30

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

難関大頻出パターン。複合敬語・係り結び・係り受けの注意問題。

Q81. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

御目にかから**ばや**と申す。

答え：願望（自己）「ばや」（謙譲連動） **解説：**「かから」未然＋「ばや」。下に謙譲「申す」を伴う。「お目にかかりたいと申し上げる」。

Q82. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

わが君の御代ぞ、久しく栄え**なむ**。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説：**「栄え」は下二段「栄ゆ」の未然形・連用形（同じ形）なので、形だけでは決まらない。上に係助詞「ぞ」があるので、文末は連体形で結ぶ。終助詞「なむ」は活用しないので結びにならない。連用形「栄え」＋完了「ぬ」未然形「な」＋推量「む」の連体形（「ぞ」の結び）。「わが君の御代こそ、きっと長く栄えるだろう」。

Q83. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

いかでこの物語を人々に伝へ**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説：**「伝へ」（下二段連用）＋「てしがな」。「いかで～てしがな」は「なんとかして～したいものだ」。「なんとかしてこの物語を人々に伝えたいものだなあ」。

Q84. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

風雅の心**もがな**。

答え：願望「もがな」 **解説：**体言「心」＋「もがな」。「風雅の心があればなあ」。

Q85. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

帝に奏せ**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」（謙譲連動） **解説：**「奏せ」（サ変「奏す」未然、絶対敬語）＋「ばや」。「帝に奏上したい」。

Q86. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

御前にて舞ひ**なむ**。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説：**「舞ひ」（四段連用）＋「なむ」。「御前にて舞ってしまうだろう」。連用→完了＋推量。

Q87. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

御簾を上げ**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説：**「上げ」（下二段「上ぐ」未然）＋「ばや」。「御簾を上げたい」。

Q88. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

宮の御前に参り**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説：**「参り」（四段「参る」連用形、謙譲）＋「てしがな」。「宮様の御前に参上したいなあ」。

Q89. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

この文の返りごと、とくせ**なむ**。

答え：願望（他者）「なむ」 **解説：**「せ」はサ変「す」の未然形（連用形なら「し」）。未然形＋「なむ」＝他者願望。「この手紙の返事を早くしてほしい」。「しなむ」なら、連用形＋完了「ぬ」未然形

「な」＋推量「む」で「きつとしてしまうだろう」。

Q90. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

千歳の松**もがな**。

答え：願望「もがな」 **解説：**体言「松」＋「もがな」。「千年の松があればなあ」。

Q91. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

身を清め**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説：**「清め」（下二段「清む」未然形）＋「ばや」。「（自分の）身を清めたい」。

Q92. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

われ、今日もむなしく暮らし果て**なむ**。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説：**「果て」（下二段「果つ」）は未然形と連用形が同じ形。主語が「われ」で自分のことなので、他人への願望の「なむ」ではない。連用形「果て」＋完了「ぬ」未然形「な」＋推量「む」。「私は今日もむなしく一日を過ごし終えてしまうだろう」。

Q93. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

後の世には、極楽に生まれて**しがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説：**「生まれ」（下二段「生まる」連用形）＋「てしがな」。「来世には、極楽に生まれたいものだなあ」。

Q94. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

いとほしと思は**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説：**「思は」（四段未然）＋「ばや」。「いとおしいと思いたい」。

Q95. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

月の出でなむを待つ。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説：**「出で」は下二段「出づ」の未然形・連用形（同じ形）なので、形だけでは決まらない。下に「を」が続くので「なむ」は連体形。願望の終助詞「なむ」は活用せず「を」には続かないので、連用形「出で」＋完了「ぬ」未然形「な」＋推量（婉曲）「む」の連体形。「月が出るのを待つ」。

Q96. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

いみじき才もがな。

答え：願望「もがな」 **解説：**体言「才」＋「もがな」。「すばらしい才能があればなあ」。

Q97. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

都に上らばやと思ひ立つ。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説：**「上ら」未然＋「ばや」。「都に上りたいと思ひ立つ」。

Q98. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

御供に従ひてしがな。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説：**「従ひ」連用＋「てしがな」。「お供に従いたいなあ」。

Q99. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

我が思ふこと叶ひなむ。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説：**「叶ひ」連用＋「なむ」。「思うことが叶うだろう」。連用→完了＋推量。

Q100. 次の傍線部「ばや・なむ・てしがな・もがな」のうち、文中の願望表現を識別せよ。

歌を詠まばや、御代久しからなむ、のどかに暮らしてしがな、よき友もがな。

答え：「ばや」自己願望／「なむ」他者願望／「てしがな」自己強願望／「もがな」存在願望 **解説：**
4種すべてが一文に。「歌を詠みたい／御代が久しくあってほしい／のどかに暮らしたいなあ／よい友があればなあ」。どれも読点の前で言い切っている（「ばや」も下に続かないので願望）。「久しから」は形容詞「久し」の未然形で、未然形＋「なむ」＝他者願望。願望表現総合問題。

入試レベル /20

採点振り返り

- ・ 基礎 (Q1～Q20) : /20
 - ・ 標準 (Q21～Q50) : /30
 - ・ 応用 (Q51～Q80) : /30
 - ・ 入試レベル (Q81～Q100) : /20
 - ・ 合計 : /100
-

あとがき

願望表現の識別の核心： - **未然形＋ばや** → 自己願望「～したい」 - **未然形＋なむ** → 他者願望「～してほしい」 - **連用形＋てしがな／にしがな** → 強い自己願望 - **体言＋もがな／がな** → 物事存在を願う

「なむ」は **連用形＋なむ＝完了「ぬ」未然＋推量「む」** との混同に注意。「ばや」「なむ」の前の活用形を必ず確認すること。

著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太
